様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	神戸・甲陽デザイン&テクノロジー専門学校
設置者名	学校法人コミュニケーションアート

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
文化・教養専門課程	ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ科（昼間Ⅰ部）	夜・通信	14 単位（420 時間）	13 単位（320 時間）	
	ﾃﾞｼﾞﾀﾙｸﾘｴｰﾀｰ科（昼間Ⅱ部）	夜・通信	12 単位（360 時間）	10 単位（240 時間）	
（備考） ※（　）内の数字は、学校教育法施行規則等の附則第 2 条（経過措置）」に基づき「実務経験のある教員等による授業科目の単位数」について用いる授業時数を記載している。					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公表。 https://www.kobe-tech.ac.jp/public_info/

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	神戸・甲陽デザイン&テクノロジー専門学校
設置者名	学校法人コミュニケーションアート

１．理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表 https://www.kobe-tech.ac.jp/public_info/

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
常勤	別学校法人　理事 （H17.4.1～）	R6.6.1～R11 年度の定時評議員会の終結の時	組織運営体制へのチェック機能
非常勤	団体役員 （H28.4.1～）	R1.5.27～R11 年度の定時評議員会の終結の時	組織運営体制へのチェック機能
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	神戸・甲陽デザイン＆テクノロジー専門学校
設置者名	学校法人コミュニケーションアート

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） 全学科、業界の方、実務経験のある教員のご意見も参考に、教務部にて原案を作成の上、学校長が決定する。 学生便覧にて、授業開始前の４月上旬に学生に説明した上、本校ホームページにて公表。

授業計画書の公表方法	ホームページにて公表。 https://www.kobe-tech.ac.jp/public_info/

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 全学科、定期試験（実技、筆記、レポート等）の成績により学修成果の評価を行っている。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 全学科GPAでの成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。 評価基準は下記の通り 出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格 出席時数3分の２以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格 出席時数3分の２以上、評価点数79～70点：B(2.0)合格 出席時数3分の２以上、評価点数69～60点：C(1.0)合格 出席時数3分の２以上、評価点数59～0点：D(0.0)不合格 上記の指標を学生便覧にて学生に公表。

客観的な指標の 算出方法の公表方法	ホームページにて公表。 https://www.kobe-tech.ac.jp/public_info/

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 全学科、学生便覧にて卒業認定要件を示し、卒業判定会議で学校長の確認・決定の上、認定している。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	ホームページにて公表。 https://www.kobe-tech.ac.jp/public_info/

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	神戸・甲陽デザイン&テクノロジー専門学校
設置者名	学校法人コミュニケーションアート

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページにて公表 https://www.kobe-tech.ac.jp/public_info/
収支計算書又は損益計算書	ホームページにて公表 https://www.kobe-tech.ac.jp/public_info/
財産目録	ホームページにて公表 https://www.kobe-tech.ac.jp/public_info/
事業報告書	ホームページにて公表 https://www.kobe-tech.ac.jp/public_info/
監事による監査報告（書）	ホームページにて公表 https://www.kobe-tech.ac.jp/public_info/

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	専門課程	テクノロジー科 （昼間Ｉ部）		○

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	128 単位 (3600 時間)	4 単位 (120 時間)	124 単位 (3480 時間)			

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
245 人	211 人	2 人	70 人	17 人	87 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 全学科、業界の方、実務経験のある教員のご意見も参考に、教務部にて原案を作成の上、学校長が決定する。 学生便覧にて、授業開始前の 4 月上旬に学生に説明した上、本校ホームページにて公表
成績評価の基準・方法
（概要） 全学科GPAでの成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。 評価基準は下記の通り 出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格 出席時数3分の２以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格 出席時数3分の２以上、評価点数79～70点：B(2.0)合格 出席時数3分の２以上、評価点数69～60点：C(1.0)合格 出席時数3分の２以上、評価点数59～0点：D(0.0)不合格 上記の指標を学生便覧にて学生に公表。

卒業・進級の認定基準
（概要） 全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業判定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。
学修支援等
（概要） 本校ではスチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 （100%）	0 人 （　　%）	0 人 （　　%）	0 人 （　　%）
（主な就職、業界等） ゲーム・サイバーセキュリティ企業等を予定			
（就職指導内容） 履歴書指導、エントリーシートの書き方、作品のブラシュアップ、面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） コミュニケーションスキルアップ検定			
（備考）（任意記載事項） ※2024 年 4 月開校のため、完成年度未達			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
112　人	5 人	4.5 %
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生一人ひとりをサポートする体制づくりを構築。 ※担任制、保護者との連携、スクールカウンセラーによる面談等		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	専門課程	デジタルクリエーター科 （昼間Ⅱ部）	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	96単位 （2700時間）	4単位 （120時間）	92単位 （2580時間）			

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
140人	153人	0人	70人	17人	87人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
全学科、業界の方、実務経験のある教員のご意見も参考に、教務部にて原案を作成の上、学校長が決定する。
学生便覧にて、授業開始前の4月上旬に学生に説明した上、本校ホームページにて公表

成績評価の基準・方法

（概要）
全学科GPAでの成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。
評価基準は下記の通り
出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格
出席時数3分の２以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格
出席時数3分の２以上、評価点数79～70点：B(2.0)合格
出席時数3分の２以上、評価点数69～60点：C(1.0)合格
出席時数3分の２以上、評価点数59～0点：D(0.0)不合格

上記の指標を学生便覧にて学生に公表。

卒業・進級の認定基準

（概要）
全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業判定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。

学修支援等

（概要）
本校ではスチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 （100%）	0人 （　　%）	0人 （　　%）	0人 （　　%）

（主な就職、業界等）
ゲーム・サイバーセキュリティ企業等を予定

（就職指導内容） 履歴書指導、エントリーシートの書き方、作品のブラシュアップ、面接指導
（主な学修成果（資格・検定等）） コミュニケーションスキルアップ検定
（備考）（任意記載事項） ※2024年4月開校のため、完成年度未達

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
80　人	8人	10.0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生一人ひとりをサポートする体制づくりを構築。 ※担任制、保護者との連携、スクールカウンセラーによる面談等		

②学校単位の情報

ａ）「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
テクノロジー科 1年次	100,000円	700,000円	750,000円	施設維持費、総合演習費、キャリア教育振興費の費用をその他に計上
テクノロジー科 2年次、3年次、4年次		800,000円	750,000円	
デジタルクリエーター科 1年次	100,000円	700,000円	750,000円	
デジタルクリエーター科 2年次、3年次		800,000円	750,000円	
修学支援（任意記載事項）				
納入スケジュールでの学費納入が難しい方に対し、延納、分納措置を行っている。				

ｂ）学校評価

自己点検評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.kobe-tech.ac.jp/public_info/		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）		
保護者代表、近隣関係者、高等学校関係者とともに、業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が行った自己点検、自己評価の内容を通し、学校運営の改善に活かすことを方針としている。 評価項目としては下記とする。 ・教育理念、目的、育成人材像について・学校運営について・教育活動について ・教育成果について・学生支援について・教育環境について ・学生募集と受け入れについて・財務について・法令等の遵守について ・社会貢献について		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
神戸野田高等学校	令和8年4月1日　～ 令和9年3月31日	高等学校関係者
大和出版印刷株式会社	令和8年4月1日　～ 令和9年3月31日	地域関係者
NGM株式会社	令和8年4月1日　～ 令和9年3月31日	企業
株式会社directrain	令和8年4月1日　～ 令和9年3月31日	企業
株式会社ロケットスタジオ	令和8年4月1日　～ 令和9年3月31日	企業
グローバルセキュリティエキスパート株式会社	令和8年4月1日　～ 令和9年3月31日	企業
保護者代表	令和8年4月1日　～ 令和9年3月31日	保護者
第三者評価結果の公表方法		

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.kobe-tech.ac.jp/public_info/
（備考）

c）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.kobe-tech.ac.jp/　またはメインパンフレット及び学生募集要項の郵送